



2月16日 「2023年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ  
東地申第46号

EAST JAPAN RAILWAY COMPANY JR  
【田町運転区】団体交渉を行う!(その1)

### 1. 日勤1行路減の根拠とマイナスキロについて明らかにすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勧案し、行路を作成している。

#### 組 合

- ◆日勤1減の理由を明らかにすること。
- ◆乗務キロ削減の理由は何か明らかにすること。
- ◆行路の偏りをなくしていくことは変わらないのか。

#### 会 社

- ◆回送キロの削減、新宿運輸区の乗務範囲の見直しに伴うものである。具体的には新宿運輸区に東海道線の担当の増、国府津運輸区の短時間行路の1増、東大宮(操)の回送キロの減である。
- ◆東大宮(操)~新宿・東京の乗務が6→4往復、快速アクティーの廃止である。
- ◆できる限り平準化していきたいと考えている。

### 2. 乗務の合間に「その他時間」を設定した根拠と具体的業務内容について明らかにすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勧案し指定しており、業務のさらなる融合と連携に向けて、上長の指示する業務を行うこととなる。

#### 組 合

- ◆提案時の平日106行路、休日108行路に「その他時間」を指定することに変更はないのか。
- ◆目的は何か明らかにすること。
- ◆上長に指示で企画業務をやることで良いのか。
- ◆乗務の間に「その他時間」を指定しないこと。
- ◆運転業務と企画業務は全く別の業務である。運転士の仕事は愚直な仕事の繰り返しであり取り扱いのミスも発生する原因となる。

#### 会 社

- ◆提案時と行路については変更はないが、区所調整を行い、乗務の合間から乗務終了後に設定をしている。
- ◆さらなる融合と連携に向け進めていく。列車密度の低い箇所、管理者の指示のしやすい時間帯に指定している。
- ◆その通りである。
- ◆管理者がいる、業務が閑散している部分に「その他時間」を指定している。
- ◆主張は受け止める。

### 3. 日勤行路の拘束時間を11時間以下にすること。

回答:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

#### 組 合

- ◆休日104・105行路は拘束時間が11時間を超えている。長いという認識はあるのか。
- ◆一般線区だから何時間でも良いという認識なのか。
- ◆日勤1減の影響はあるのか。

#### 会 社

- ◆長いという認識はある。休日105行路は入出区を合わせた結果拘束時間が延びている。
- ◆そうではない。
- ◆直接的な影響はない。



2月16日 「2023年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ  
東地申第46号

【田町運転区】団体交渉を行う!(その2)

4. 大宮総合車両センター東大宮センター泊廃止の理由を明らかにすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"><li>◆<u>東大宮センター泊廃止の理由を明らかにすること。</u></li><li>◆夜間、東大宮センターに徒歩で行くことは解消されたが、次期改正以降そのような行路ができる場合には現場の意見を聞き反映させること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆<u>回3120M～上野駅の列車が削減されたことにより泊りの仕事が無くなった。E257系の高崎線特急導入によるものである。</u></li><li>◆夜間、暗いと認識はしており、引き続き検討していく考えである。</li></ul>

5. 東北地平線の行路設定をなくした理由を明らかにすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"><li>◆<u>東北地平線の行路設定をなくした理由を明らかにすること。</u></li><li>◆<u>田町運転区だけ東北地平線に入れられないという状況になれば輸送の安定性が損なわれるのではないのか。</u></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆<u>回送キロ削減によるものである。</u></li><li>◆<u>ビジュアル教材など必要な教育訓練を行っていくと聞いている。線見やハンドル訓練を含めて検討していく。</u></li></ul>

6. 国府津車両センター泊の睡眠を目的とした乗務の中断を着発7時間とすること。

回答:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"><li>◆<u>睡眠を目的とした乗務の中断を拡大すること。</u></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆<u>夜の入区・出区や4区所で担当していることから全てではないが、拡大できるものは拡大していく考えである。</u></li></ul>

7. 藤沢駅の入換作業の考え方を明らかにすること。

回答:輸送障害の発生状況により、柔軟な対応を行っていく考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"><li>◆柔軟な対応とは何か明らかにすること。</li><li>◆使用実績はあるのか明らかにすること。</li><li>◆<u>教育・訓練は行うのか明らかにすること。</u></li><li>◆近年、入換行っていないことから線路や架線の設備については問題ないのか明らかにすること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆必ずやる、やらないではなく柔軟に対応していく。</li><li>◆近年やっていないと聞いている。</li><li>◆<u>4月に訓練の計画があると聞いている。</u></li><li>◆横浜支社に確認する。必要な対応は行っていく考えである。</li></ul>